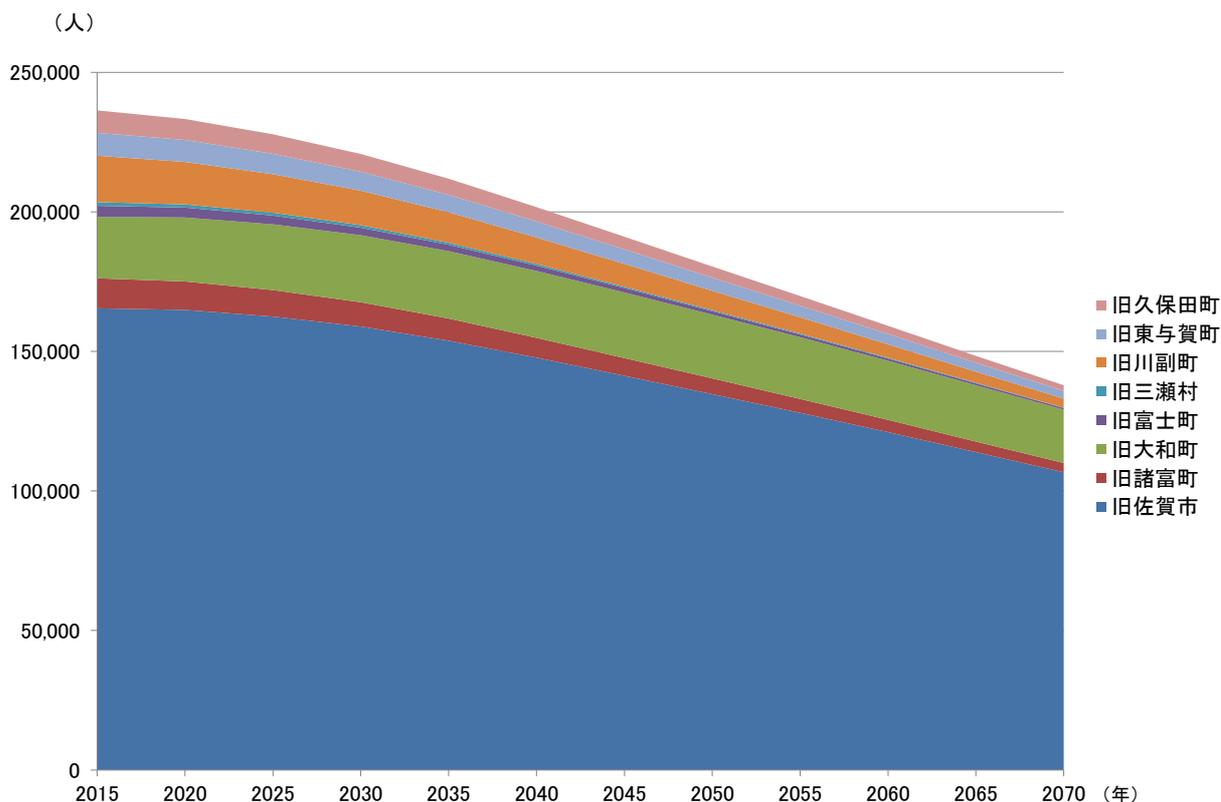


(17) 旧市町村別人口推移

市町村合併前の区域に分けて人口推移を見ると、旧大和町以外で一貫して減少を続け、2065（令和47）年には最も人口規模の大きかった旧佐賀市でも、人口が12万人を割り込む。旧大和町は2035（令和17）年まで増加するものの2040（令和22）年以降は減少に転じる。2070（令和52）年の推計人口を2015（平成27）年実績値と比べると、最も減少率が高いのは旧三瀬村、次いで旧富士町となっている。一方、減少率が低いのは、旧大和町、旧佐賀市となっている。市中心地の減少率は総じて低く、市北部地域（山間部）が高くなっている。

旧市町村別人口推移



	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065	2070	2070年 人口減少率 (2015年比)
旧佐賀市	165,465	164,919	162,475	158,927	153,851	147,734	141,264	134,677	127,973	121,076	113,888	106,714	-35.5%
旧諸富町	10,778	10,167	9,471	8,713	7,916	7,116	6,348	5,642	4,988	4,372	3,797	3,290	-69.5%
旧大和町	21,985	22,881	23,618	24,011	24,167	23,976	23,504	22,865	22,101	21,163	20,185	19,126	-13.0%
旧富士町	3,979	3,529	3,103	2,695	2,301	1,920	1,568	1,262	1,022	836	683	548	-86.2%
旧三瀬村	1,305	1,182	1,029	870	727	603	493	404	325	255	201	155	-88.1%
旧川副町	16,574	15,223	13,797	12,371	10,918	9,504	8,162	6,925	5,814	4,830	3,967	3,225	-80.5%
旧東与賀町	8,222	7,847	7,355	6,826	6,278	5,738	5,200	4,671	4,159	3,671	3,207	2,782	-66.2%
旧久保田町	8,064	7,553	6,961	6,353	5,730	5,127	4,534	3,960	3,426	2,932	2,475	2,066	-74.4%

(注1) 2005（平成17）年10月、旧佐賀市、旧諸富町、旧大和町、旧富士町、旧三瀬村が合併し、新佐賀市が誕生。2007（平成19）年10月、新佐賀市と旧川副町、旧東与賀町、旧久保田町が合併し、現佐賀市が誕生
 (注2) 社会移動率は、旧市町村毎に推計し、町字別に人口推計した結果を合計して、旧市町村毎の人口を推計
 (出典) 九州経済調査協会推計